

救急救命医療の技術 医師や看護師ら競う

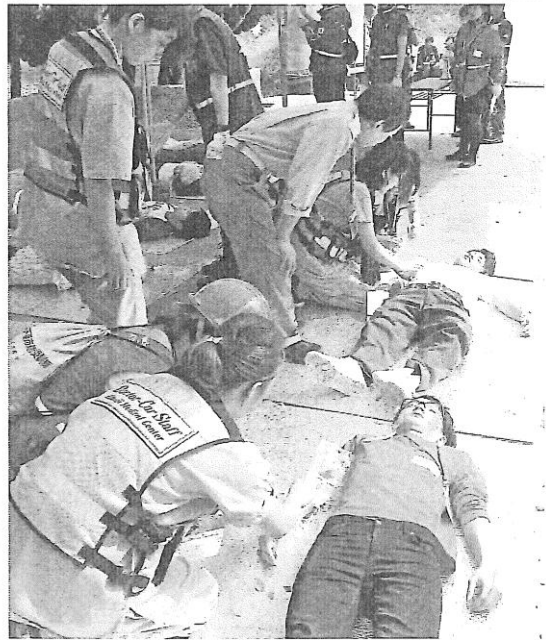
吹田で「メディカルラリー」

医師や看護師らが日頃培った救急救命医療技術を発揮する「第13回大阪千里メ

ディカルラリー」が、吹田

救急医療病院の医師、看護師、救急救命士が6人のチームをつくり、大規模事

けが人役の人たちに止血、点滴の
応急手当てをする参加者＝吹田市



市津雲台の済生会千里病院と千里南公園一帯で行われ、府内や近畿、青森、山梨、三重、福岡県などから参加した21チームが、「チームワーク」を競い合っ

た。審査の結果、堺市立堺病院と同市中区のベルランド総合病院、同市堺区の耳原総合病院のスタッフによる「堺チーム」が1位に選ばれた。

故などさまざまな場面を想定した7カ所の「現場」を移動しながら、10分の制限時間内に適切な処置を行えるかを競う医療コンテスト。

千里南公園の西側に設けられた「列車転覆事故現場」では、横たわった大勢のけが人役の人たちに止血、点滴の応急手当てをしながら、けがの軽重を見て治療の優先順位を判断する「トリアージ」を実施した。

また、けがの部位によつてどの病院に搬送するかを決め、審査員らが適切な処置かどうかをチェック、採点していた。